NIE実践報告

1．タイトル：**新聞を知ろう　~　世の中を知ろう・世界を広げよう　~**

2．学校名

栃木県さくら市立南小学校

3．実践者名（代表者名）

赤羽　喜代美

4．学年

３年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　　２５名

6．単元（本時の学習課題）名

新聞のことを知ろう　「見出しを考えよう」

7．目標(狙い)

新聞の本文を読んで「見出し」を考えることができる。

8．評価の視点

子ども新聞の本文を読んで、「見出し」を自分なりに考えている。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

新聞のことを知ろう（１０時間）→新聞のあらまし５時間、新聞を使って５時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞を使って　~「見出し」を考えよう~（６時間目／１０時間）

１　見出しクイズをして、本時の目あてを知る。→一両日中に掲示してあった新聞の見出しや印象的な一面写真に添えられた見出しなどを活用してスクリーンに映し出して、見出しの持つ重要性を感じ取れるようにする。

２　「チリの落盤事故」の記事を読む。→掲示してあった子ども新聞を活用することで、誰もが目にしたことのある記事を提示して、主体的に読めるよう配慮する。

３　どんな見出しか考える。→考えた見出しをワークシートに記入できるように準備しておく。

４　グループで話し合う。→話し合いのやりとりを書き留められるように、コミュニケーションホワイトボードを準備しておく。

５　全体で見出しについて話し合う。→黒板に並べられたボードをもとにこの見出しについて感想を伝え合う。各グループでの考えのすばらしさや、新聞記者さん達の見出しに込めた思いを受け止められるよう指導助言する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

・各グループの伝えたいことかよくわかった。・気持ちが伝わってくる文が多かった。・世の中で起こったことを考えて作っているんだ。・新聞の見出しは、新聞記者さん達の思いがつまっている。など

12．成果と課題

○問題解決学習の仕方が身についてきた。調べたいという意欲が高まった。語彙を増やす喜びを感じている。新聞をめくることが日常的になった児童も増えた。

△一般紙のタイムリーなニュースを拾い上げていく教師側の余裕のなさ。子ども新聞の配布期間の延長。全校生に広めていくための新たなる方策。